

戸塚区連合町内会自治会連絡会11月定例会 議 題 説 明 書

戸塚区・福祉保健課

議題名： 戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌 「のぼそう愛の手第35号」の発行について
【内容】 戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌「のぼそう愛の手第35号」を発行しましたので、お知らせします。 今回は、「主任児童委員をご存知ですか？」等、皆さまに民生委員・児童委員の活動を紹介する記事が掲載されていますので、ぜひご一読ください。
【例年あげている議題か？】 前は令和3年11月区連会でお知らせしました。
【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか？】 【各単会の会長に何を依頼したいのか？】 (具体的に記入してください。) 各自治会町内会に1部ずつ配布いたしますので、ご承知おきください。 ご希望があれば必要部数をお送りしますので、福祉保健課運営企画係までご連絡ください。
【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 福祉保健課

担当者名 安養寺・網野

TEL 866-8418

FAX 865-3963

小さな気づき、寄り添う心 頼れる地域の『つなぎ役』

～これからも、民生委員・児童委員活動へのご理解とご支援をお願いいたします～



のばそう愛の手 戸塚区民生委員児童委員協議会

第35号
R4.10.21 発行

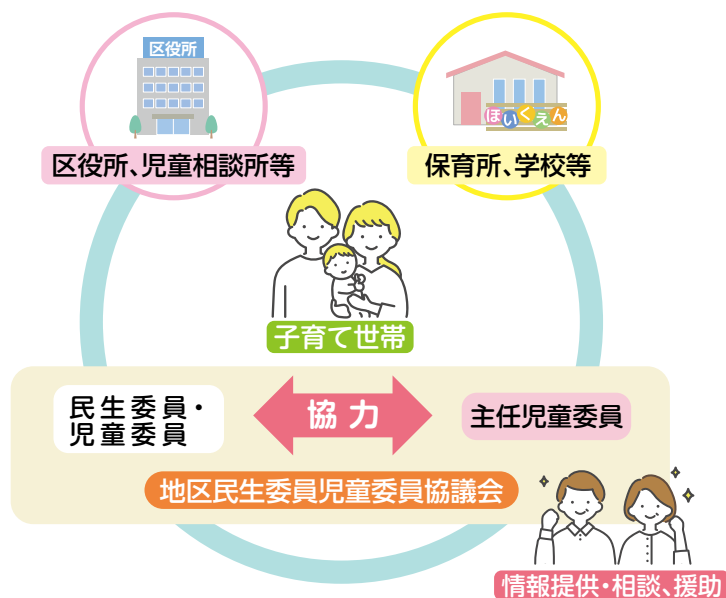


主任児童委員をご存じですか？

主任児童委員とは、厚生労働大臣の委嘱を受けた民生委員・児童委員で、特に児童福祉に関する事項を専門に担当しています。戸塚区には37名の主任児童委員がいます。
区を担当する民生委員・児童委員と連携して、児童に関する課題に取り組みます。
地域の中の関係機関と連携し、子どもや子育て家庭を支援する活動を行う推進役として、様々な活動を行っています。



主任児童委員の皆さま



主な活動内容

- 「地域子育て支援サークル」の開催
- スクールソーシャルワーカー（SSW）との意見交換会
- 児童相談所職員との意見交換会
- 学校の先生やPTAの方々との交流
- 地域子育て支援拠点「とつと」の芽」遊びの講座
- 地域の子育て世帯や関係機関への子育てに関する情報提供

「とつと」の芽」遊びの講座
手作りマジック



主任児童委員代表
安井一美さん

主任児童委員代表に
インタビューしてみました

Q 仕事との両立は？

A 他の委員に活動スケジュールを相談しながら、仕事と無理なく両立できるよう心がけています。

Q やりがいは？

A 子どもたちの成長が一番の喜びです。大きくなって「その節はお世話になりました。」と言ってもらったときなど、ボランティア冥利につきますね。

主任児童委員には守秘義務がありますので、子育ての悩みなど、一人で抱え込まず、皆さんの地区の主任児童委員までお気軽にご相談ください。

令和4年度横浜市民生委員児童委員協議会 地区会長研修

『コロナ禍における民生委員児童委員活動』について報告します。

戸塚区民生委員児童委員協議会 事務局

令和4年6月7日（火）横浜市港南公会堂にて地区会長研修が開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染症の影響もある中、179名の方に参加していただきました。また、戸塚区では6地区の会長が個別に動画を御視聴いただきました。

ルーテル学院大学教授の市川一宏氏の御講演では、コロナ禍において民生委員児童委員が直面している現在の社会における生活課題やこうした状況下において単位民児協会長に求められる役割などについてお話をいただきました。



市川先生による講演の様子

講演概要

① コロナ禍において深刻化した生活課題

社会全体でひきこもっている人の数の急増、児童虐待の発生件数の急増、要介護化する高齢者の増加などといった関係性の危機の深刻化、失業などによる生活保護世帯の増加、こどもの貧困の悪循環といった経済的危機の深刻化、福祉事業者の経営状況の悪化、サロンや見守りといった地域福祉活動の休止など、民生委員が直面している現在の社会における生活課題について説明がありました。

② コロナ禍において目指すべき地域福祉活動

今までの関係が打ち砕かれた今こそ、原点に戻ることが求められるべきであり、改めて活動の意味・目標を確認すること、自分たちが目指してきた地域ケアを再確認し、再構築すること、具体的には、高齢者の安否確認の仕組み作りが求められることなどについてお話がありました。



座席の間隔を開けて開催

参加者からは、大変好評で満足度も高く、『講師の説明も分かりやすかった』というアンケート結果でした。また、下記のような意見をいただきました。

- 講義が多岐にわたり、とても勉強になった。
- 単位民児協として困難ケースをどのように支援していくべきか考える上で参考になった。
- コロナ禍で何事もやり直しといった状況で、何が重要か考え直すべきであることを痛感し、気持ちを新たにしたい。

③ 民生委員・児童委員活動の原点に帰る

民生委員の活動の原点に帰り、関係者のそれぞれの役割の確認、民生委員の役割の確認や知識・技術の向上、民生委員活動を振り返る場の確保、民生委員への地域からの理解を広げていくべきこと、民生委員を支援する体制を築くべきことについて説明がありました。また、東日本大震災での経験を踏まえ、災害時において求められる役割についてもお話がありました。

④ コロナ禍における単位民児協への期待

各種の調査結果をもとにコロナ禍における具体的な困難事例について触れながら、単位民児協は、単に連絡の場ではなく、一人一人の民生委員児童委員の委員活動を支えるために、困難ケースの検討や情報交換などを行うこと、また委員の負担を軽減するための工夫が求められているなどのお話がありました。

編集後記

私たち民生委員・児童委員は、任期3年のうち現在3年目に入りました。今回は主任児童委員の活動を紹介しました。今年は一斉改選が行われ、12月1日に新任委員を迎えます。まだコロナ禍にありますので、充分気を付けて一緒に活動を行いましょう！（渥美）

【編集委員】長谷川 和三、渥美 房子、井上 千恵子、金子 孝、川邊 正子、林 万里子

【発行責任者】露木 光夫 【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎866-8418

東戸塚地区

◆東戸塚地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

コロナ禍で新しい発見とチャレンジの活動でした

東戸塚地区民生委員児童委員協議会 会長 金子 孝

コロナ禍の新しい体制で3年間民生委員の活動をしてきました。対面での見守りや、施設見学や民生委員間の交流もできませんでした。その中で高齢者の見守り活動を工夫してやってきました。昨年の11月から今年の1月にかけて、ボランティアの皆さんや一部委託してハートプランのリーフレットとおさんぽマップを東戸塚地区の全世帯（13,000世帯）に配布をしました。地域の交流や問題解決のハートプランを普及するために奮闘しました。以前の区民意識調査アンケートで、東戸塚地区では7割の方がハートプランのことを知らない人がいる結果が出ていました。ハートプランのリーフレットを手にしてもらい、公園や施設や桜がきれいな場所が載ったおさんぽマップを活用して地域の新しい発見をしてもらえればと思います。

民生委員の活動を通じて地域を知り、ケアプラザ等の専門機関を知り様々な方との交流もでき、見守り活動を通じて対象者の方から感謝の言葉をもらい、有意義な活動ができたかなと思っています。



こころんのお人形を作ったよ



リーフレットとおさんぽマップを配布しました

柏尾地区

◆柏尾地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

コロナ禍で地域住民に寄りそって活動

柏尾地区民生委員児童委員協議会 会長 齋藤 節子



配食・フラワーアレンジメント

柏尾地区民児協は民生委員・児童委員11名、主任児童委員2名の13名で活動し、皆で色々な研修会に参加し自己研鑽に努めています。

高齢者の外出自粛対策に、「なぞとき集」を作成、配布しました。各行事は感染予防対策を徹底し、工夫して行いました。「お楽しみ会・年4回」は送迎を含め1日2回に、参加人数の多いお花のアレンジメントは、地区別に2日に分け実施。「ひとり暮らし高齢者の食事会・年2回」は配食に変え、各地区の会館まで配達。車椅子や身体の具合の悪いひとには民生委員が届けました。食事会の3倍の200食になりましたが、集まりに躊躇していた男性の参加が大変増え、より細やかな見守り活動に繋がりました。

「子育て支援ハートぽっぽ柏尾・年11回」は季節に合った鯉のぼり、七夕飾り、鬼の面、お雛さま等の工作を楽しみ、地域の公園で遊び、じゃが芋掘りも実施しました。買い物が困難な方のために連合、社協の協力で「コンビニの移動販売」週1回、2カ所で開催しています。

これからますます高齢者も増え、取り巻く環境も変化します。地域住民のニーズに応え、寄り添って活動をしていきます。



なぞとき集

川上地区

◆川上地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

地域で力を合わせてコロナを乗り切ろう

川上地区民生委員児童委員協議会 会長 對馬 美知子

令和4年度もコロナ禍でのスタートになりましたが、3回目のワクチン接種も進み、5月には感染状況も落ち着いてきました。休止していた行事も感染対策を徹底し、やり方を工夫しながら再開することにしました。

ひとり暮らし高齢者の食事会の「若葉会」はお弁当にして、持ち帰って頂くことにしました。6月は民謡の「鴈舟会」の方に来て頂き、楽しい一時をすごしました。短い時間でしたが、皆さんにはとても喜んで頂きました。

子育て支援サークル「ぶらんこ」は、今はメール申し込みによる事前予約制ですが、毎回すぐに予約が埋まってしまいます。子ども達の遊び場であるとともに、お母さん同士の情報交換や友達作りの場になっています。

そのほかに「リハビリサロン前田」は、高齢者（特に男性）の外出の機会を増やすことを目的にした健康麻雀を楽しむ会です。昼食に民生委員が作るカレーが人気でしたが、食事無しで時間も短くして再開しました。

これからも町内会、地区連合・社協と連携し、『誰もが住みやすいまちづくり』のために活動していきたいと思っています。



ぶらんこ



若葉会

◆戸塚区主任児童委員連絡会の活動紹介◆

“虐待かも？”と感じたら、どうするか

戸塚第三地区主任児童委員 蟹澤 祐子



グループワーク

6月の主任児童委員連絡会では、南部児童相談所を招き「児童虐待の通告」について学びました。

昨年の10月にも児童相談所のお話を伺っていましたが、今回はグループワークディスカッションを中心に行いました。グループに分かれ「こんな状況に出会ったなら……どうしますか」という内容で、子どもが虐待されているかもしれない状況を通告に繋げるために着目するポイントを話し合いました。いろいろな見方、考え方が出てきてとても勉強になりました。

次の、職員によるロールプレイでは、通告の流れをととてもわかりやすく学ぶことができました。またその中で、通告者に対する職員の配慮を感じることができました。その後「虐待の発見と通告」「一般的知識」の講義をしていただきました。

子どもたちの周りにいる大人たちが見守りながら連携することが、児童虐待の早期発見、防止につながると実感でき、充実した一日となりました。